



実業団ランナー

小野 浩典さん 右・八千代工業  
押川 裕貴さん 左・トヨタ自動車九州

『長野マラソン3位の押川選手が区間賞の走りで小野選手に襷をつなぐ』  
小坂出身の二人は鉢盛中、中京高(岐阜)で全国駅伝を経験した盟友。今年3月に実業団選手から一線を引いた小野選手が今大会を引退レースとし、1年後輩の押川選手を誘った。「緊張もあったが今ある力を出し切ることができた。押川はマラソンの有望株。高みを目指し頑張ってもらいたい」とエールを送る。

沿道では『押川先輩頑張れ』と横断幕を持つキヨミズの子ども・監督らの姿も。「野球の経験があって今の自分がある。走りで恩返ししたい」と押川選手。元旦開催の『全日本実業団対抗駅伝』その走りにも注目。(11月19日 長野県縦断駅伝 伊那中継地点にて)

働姿

### 告知板

#### 施設予約のお知らせ

トレーニングセンター、ミラ・フード館、ふれあいドーム、テニスコート、小学校（体育館、グラウンド）の平成30年度からの施設予約については、3月中旬から受け付けます。ご不明な点は、トレーニングセンター（☎98-3155）へお問い合わせください。



11月27日(月)、全日本高等学校女子サッカー選手権大会に出場する松商学園女子サッカー部の大久保佑菜さんが、村長室を訪れました。本庄村長からの「村民一同応援しているのでぜひ頑張ってください」という激励の言葉を受け、「真剣なまなざしで「ベスト8を目指し頑張りたい」と意気込みを語りました。

### 表敬訪問

### からすのパンやさん

12月2日(土)、いちいの里にて図書館主催のパン作り体験が行われました。子どもたちは絵本「からすのパンやさん」の話を聞いてイメージを膨らませた後、思い思いにパンを作りました。調理場は芳ばしい香りと歓声でいっぱいでした。



### すくすくまつり

12月2日(土)、山形村子育て支援センターで「すくすくまつり」が開催されました。4回目を迎える今年は、少しでも暖かい時期にし、多くの皆さんに足を運んでほしいという思いから例年の2月から12月に時期を早めて行いました。「見習い風船士」を名乗るハマテツさんによるバルーンアートのパフォーマンスの他、折り紙をするコーナーや豚汁の振る舞いなどがありました。



### 公民館生き生き大学 活動記録

#### ○王滝村との交流

11月28日(火)、トレーニングセンターで王滝村公民館との交流を行いました。

昼食には、農村生活マイスターの方を講師に招き、山形村特産の長芋を使ったすいとん汁やピザ、煮っころがしを作りました。同じテーブルを囲みながら、作った料理や持ち込んだ漬物などを味わいました。

また、午後には清水寺や、JA松本ハイランドの共選所を見学し、山形村のPRも行った。



いました。生き生き大学の参加者からは「来年は木曾へへうば巻きを作りに行きたいね」という声も聞くことができ、王滝村の参加者からは、「家で長芋レシピを使いたいね」などの声も聞け、お互いの公民館活動に良い影響を与えたのではないのでしょうか。



#### ○異文化交流

12月12日(火)、松本市にある食事処「寄つてけや福寿草」から講師をお招きし、「キムチやチヂミなどの本格的な韓国料理を作りました。楽しい異文化交流に、充実した学びの時間となりました。」



## 山すそ

今年の世相を表す漢字が「北」に決まった。恒例の森清範貫主の揮毫する姿を拝見すると今年も残りわず

かだと実感する。この「北」が選ばれた理由の中で良い印象のものとしては、球界では大谷翔平選手の大リーグへの移籍や清宮幸太郎選手の入団など「北」海道日本ハムファイターズに注目が集まったこと。競馬界では、「キタ」サンブракが現役最強馬として大活躍したことである。ちなみに、織田裕二さんの「きたー」は違う。今年で23回目を迎えるそうだが、皆さんはどれだけ覚えていますか？平成7年の「震」から始まり、「食・倒・毒・末・金・戦・帰・虎・災・愛・命・偽・変・新・暑・絆・金・輪・税・安・金」そして今年の「北」と続く。意外にも昨年の「金」以外の漢字は2度以上選ばれていない。来年はどんな年になるのでしょうか。近年、暗く、喜ばしくない話題が多いので、来年こそは明るく、喜ばしい話題が多い年になればよいですね。来年の漢字は「幸」「楽」「喜」のどれかに決まり！

### 福祉バス

皆さんは「福祉バス」が10月23日から、新体制に移行したことをご存知でしたか？

まず「福祉バスって何？」という方もいるかもしれません。福祉バスとは、おおむね65歳以上の方や心身に障がいを持つ方、その他交通弱者を対象に、村内の主要な箇所へ送り届けてくれる交通機関です。新体制移行に伴い、停留所を67箇所を増設（以前は56箇所）またバスも2台体制とし、ルートを南（大池・小坂方面）・北（竹田方面）に分けて運行しています。「無料なのがあるがたい」「停留所が近くて助かる」などの声が寄せられている一方で、「南北をまたぐ場合は以前より時間が掛かる」「午後の便が一本しかなくて不便」といった不満の声も多く聞かれます。

高齢化に伴い、今後はさらに利用者が拡大していくであろう「福祉バス」。利用者のニーズに合わせ、まだまだ改良の余地はありそうですね。（時刻表はホームページでもダウンロードできます。詳しくは保健福祉課 ☎97 2100へお問い合わせください。）

### 冬のスポーツ教室始動！

スポーツ推進委員会主催の冬のスポーツ教室が12月からスタートしました。

1日(金)から行われた「パラスポール教室」には、中健康友の会から4名の方を講師にお招きしました。プログラムに沿って前半はストレッチやリンパマッサージなどを行い、後半にはボールを使い、音楽に合わせて体幹を鍛えながら踊ったりしました。

また、8日(金)から始まった「ズンバ教室」は塩尻市の丸山美幸さんを講師にお招きして実施されました。ラテン系のテンポの良いリズムに乗り、体全体の筋肉を使って踊るため、発汗作用や筋力トレーニングにもなりました。

家の中にいる機会が増えるこの時期にはびつたりの内容でした。



### 「開かれた議会」 休日議会を傍聴

12月10日(日)、山形村議会12月定例会一般質問が休日議会として開催されました。

傍聴席には40名程が訪れ、議員の質問や村長の答弁を真剣に聴き入っていました。来年3月には村議選もあります。YCSの放送や、議会だよりなどで、議員の活動にも注目していきたいですね。



### 育成会 研修会

12月10日(日)、子ども会育成会主催の研修会が、反貧困セーフティネット・アルプス世話人の児玉典子さんを講師に迎え行われました。

「貧困と子ども」子どもの声を置き去りにしない社会・おとな」と題した講演では、貧困状態に置かれていく子どもの現実と、問題解決への取り組みなどのお話を聴きました。



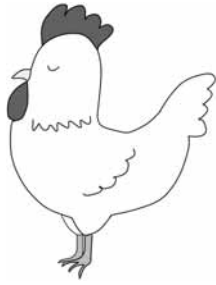
## 子どもを育てる

シリーズ

### 家庭でこそしつけないこと

- ・情緒の安定をはかること
- ・スキンシップによる情緒の安定 これが人間への信頼や人生への自信の基礎となるもの。スキンシップの不足は、将来言葉の発達、落ち着き、親離れできないなどの障害あり。
- ・基本的な生活週間に身につける
- ・遅寝遅起き、長時間テレビを見る、自律起床が困難児等の増加。
- ・自主性を養う
- ・多すぎる要求と子どもの立場の無視
- ・早く早くと急ぎ立て、子どもが自分からやろうとするすきを与えない親
- ・「早くしなさい」「それがすんだらこれをやりなさい」式の子育てでは、本音の自主性は育たない。
- ・指示をされなければ何をしたらいいかわからない子が増えている。
- ・失敗体験を大切に
- ・子どもの失敗を親は過度に恐れてはならない。
- ・未熟で経験の浅い子どもにとって、うまくいかないのが当たり前。
- ・例えば、友だちと遊び始めた子どもが、最初から仲良く衝突なくやれる筈がない。ぶつかり合いながら、次第にそのルールを身につけていく。
- ・仲よく遊ぶのよ、といくら教えてもできない」とか「すぐおもちゃの取り合いをして困る」という親が多い。
- ・親のこのような「失敗回避傾向」と「完璧主義」が失敗を恐れる子にし、何事にもぶつかりたり挑戦しようとならない子になり、人間関係でも、浅い関係しかできない子になる。
- ・叱られたこともなく、失敗した経験もない子が、小・中学校へ行つて、ささいなことですまずき、立直れないという例は多い。

2017



かい?



今年も気がつけば残りわずかになりました。

2月に行われた村長選で新しい村長が誕生。村民運動会は3年ぶりに暑すぎるほどの晴天の中開催され、久しぶりに盛りあげられました。

皆さんにとって今年はどうな1年だったでしょうか？今年も7名の方に1年を振り返りつつ、来年への抱負を語っていただきました。

村民運動会を通じての思い



上條 和彦  
(中大池)

一年を振り返ると、公私共に忙しい年だったと感じます。そんな中、分館の体育部長として活動をさせて頂き、いろいろな事を感じ考えさせられた一年でもあったと思います。体育部として一番の仕事である「村民運動会」では、部員の皆さんの協力を得て選手選考から始まり当日の運営まで、本当によく協力頂きました。おかげ様で、まさかの優勝をさせて頂きました。そんな活動の中や反省会において、「こんなに苦労するなら村民運動会はやめたら」と言うご意見も数多く伺った。確かにそうだよなと思う反面、そうかなあとの思いもあつた。ある時、地域防災研修を受け「避難所運営ゲーム」を行いました。その日に顔を合わせた人が、避難所を運営するためにワイワイガヤガヤ意見交換をし、どうしたら上手くできるか考える。そんな姿が村民運動会の運営に通ずるところがあるなと感じました。

多忙？いえいえ充実!!



春日 仁  
(上大池)

今年のスタートは村長選のお手伝いをさせて頂いたが、身近な方が出られると言ったこともあり、村の色々な問題（連絡班・人口減少・里山荒廃等々）を改めて考える良い機会だったと思います。どうか村の「人幸」が増える村づくりをお願いします。そして、上大池のボランティアのイベント、本育成会役員、ソフトバレーボール連盟などの活動がありました。そんな中、村の「男女共同参画計画推進委員」の委嘱がありました。この計画は「男女がお互いに尊重し合い、あらゆる分野で性別に関わらず個性と能力を十分に発揮し、喜びや責任を分かち合うこと」とありますが、内容は多岐にわたります。今の子どもたちが大人になる頃にはしっかりと確立されるよう願います。そして気が付けばあつという間の1年。精力的に活動できたのも家族のサポートがあつたのことに感謝します。

周りの人の大切さ



田中 亜佳音(左)  
(下竹田)

今年は、身の周りの人の大切さを実感することが多かった一年だと思っています。高校三年生に進級し、進路について意識するようになりました。進学したいと両親に伝えてから、父は学費のためバイトをしてくれました。学校選びで父と喧嘩になった時、間に入って話を聞いてくれたのは母でした。気持ちのモヤモヤしている時に一緒に悩んだりしゃべりたりしてくれたのは友達で、進む先のヒントをくれたのは高校の先生です。毎日を過ごしていく中で、何度か周りの人の存在に助けられていることを感じました。来年は新しい場所で新しい生活を始めるようになります。その中で、今周りに居てくれる人の大切さを忘れないように生活していきたいです。また、新しく出会う人とのつながりも作っていきけるよう頑張りたいと思います。

今年を振り返って



金子 智久  
(小坂)

今年、特に印象に残ったのが三年振りに開催された村民運動会で優勝できたことです。小坂の体育部長をすることになり一抹の不安があるなかで、小林分館長さんから「二年間の内で一回で良いので優勝旗を持たして欲しい」とミッシオンを頂きました。私も体育会系の出なので、どうせやるなら優勝したいと思いました。運営委員会で連絡長さんが集まるなか、小坂分館は優勝を取りに行くのでお願いしやすと依頼しました。宣言したからには確実に勝てるようにと作戦会議を何度もしました。人選をして委嘱書を出すのですがなかなか引き受けて頂けず最後の最後まで人選で四苦八苦しました。同率優勝となりましたが、宣言して優勝できたことに多くの方から賞賛を頂きました。来年も悔いが残らないようにベストを尽くします。

# コトもケツコ いい年だったじゃねーか

山形村データあれこれ	人口	8,800人
	男	4,361人
	女	4,439人
世帯数	3,039世帯	
出生数	59人	
死亡数	98人	
転入数	316人	
転出数	235人	
(役場 11月末現在)		
村内における人身事故	17件	
負傷者	19人	
死亡者	0人	
(松本警察署 11月末現在)		

## 11年を振り返って



籠田 千史 (小坂)

我が家は二人の息子が、少年野球の山形キヨミズでお世話になりました。12月最初の日曜日に、下の息子が卒団式を終え、11年の少年野球生活が終了しました。

山形キヨミズでは、野球の技術だけでなく、礼儀や挨拶など、社会に出てからも恥ずかしくない子どもを育成したいと常々宮前監督はおっしゃっています。子どもたちは遅く成長し、凛として卒団していきます。我が家も監督には大変お世話になりました。11年を振り返り一番想うことは、子どもと同じ時間を過ごし、想いを共有できる期間はとても短いということ。子どもが頑張る時、親の協力やサポートが必要となりますが、中学・高校ともなれば親の出番は少なくなります。長いようで短かった少年野球生活で親も頑張り、同じ時を過ごす機会を与えていたのだと思います。感謝の気持ちでいっぱいです。

## 私の得たもの



五味 駿佑 (下大池)

私はこの一年間、松商学園高等学校で応援団長を務めさせていただきました。今年応援団長ができたおかげで、全校生徒1,400人の応援をまとめたり、野球部が甲子園に出場した事から長野県を代表する高校の応援を統率したりと他では経験のできない事を味わう事ができました。

松商学園高等学校は応援練習に力を入れている事から新入生へ熱く厳しい指導をし、伝統を継げる事もできました。さらに女子バレー部が春高出場を決めた事から2年連続で全国大会の応援へ行ってきました。まだまだ活動の内容としてはたくさんありますが、特に思い出に残ったものを挙げてみました。これらの経験をした事によって人前でのパフォーマンスが上がり良い成長にもなりました。あと少し高校生活がありますが、最高に楽しんで最高の思い出を作ろうと思います。高校生活を人生の宝物にします。

## 2017年熱い夏！甲子園へ



鈴木麻衣子 (上竹田)

母校、松商学園高等学校が9年ぶりに夏の甲子園出場を果たしました。暑い夏に、熱い戦い！そんな高校野球が大好きです。また今年は、長女が同校に入学し、『トワリングバトン部』に所属。甲子園出場に伴って、娘の甲子園応援入りも決まりました。8月9日いざ、甲子園へ!! 甲子園はやはり暑かった！そして何とも言えない空気感。スタンドは松商応援団の熱気に包まれていました。私も、生徒に混じって、声を出し力いっぱい応援をしました。応援団の中には娘の姿もありました。夏の陽射しの中で、必死のチャ応援のようでしたが、とても楽しんでるように見えました。高校生活を謳歌している娘の姿を嬉しく感じました。その横では、ひと際元気な野球部員の姿がありました。和太鼓をリズムよく叩き生徒応援団を率いている生徒です。3年生の野球部員たそです。怪我や様々な理由で、ベンチ

入りできる部員ばかりではありません。それでもスタンドから、必死で仲間の応援をしていました。そんな影での支えの部分に心を打たれました。困難な時も、目の前の事に向き合い、前に進むうとする松商学園野球部に元気をもらった夏でした。

2017年 重大ニュース	1月・トランプ大統領就任
	・稀勢の里横綱昇進
	2月・金正男殺害事件
	本庄利昭村長当選
	3月・防災ヘリ墜落
	9名全員死亡
	4月・浅田真央引退
	5月・眞子さま婚約へ
	6月・パンダ「シンシン」5年ぶり出産
	・将棋藤井四段29連勝
	7月・東京五輪まで3年
	8月・北朝鮮弾道ミサイル北海道上空を通過
	9月・陸上桐生100メートル9秒98の快走
	10月・衆院選自民大勝
	村民運動会3年ぶり開催
	11月・清宮日本ハム入団
	・日馬富士引退
	12月・流行語大賞決定
	「インスタ映え」
	「村度(そんたく)」



上大池分団  
創立100周年にあたり



上大池分団長  
本庄 富雄

上大池消防団創立100周年記念式典が挙行できますことは、区民の皆様をはじめ、村の関係機関、防友会の皆様のご協力の賜と深く感謝申し上げます。大正6年4月に消防組織として発足以来、歴代の先輩方の消防に対する意気込みや姿勢が、長く受け継がれ今日に至りました。

今後消防活動にご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い致します。

忘れてはいけない歴史

昭和20年10月、堂ヶ入沢水害6日間にわたり雨が降り続き、各河川が氾濫し被害が起きました。特に三間沢川の源流の堂ヶ入沢は激しく、丸山地籍で決壊し、濁流は上大池豆沢方面へ流出しました。上大池警防団（後の上大池消防団）が出勤し防災にあたったところ、2名の団員が不幸にも濁流にのみ込まれ、殉職されました。

中大池分館バスハイク

11月18日(土)、中大池分館のバスハイクが行われました。横浜方面への旅行で、出発した朝方は雨模様でしたが、目的地に着く頃には雨も上がり、中華街散策、ランチクルーズ、カップヌードルミュージアム見学などを楽しみました。大型客船ロイヤルウイングでのランチバイキングクルーズは、横浜の景色を楽しみながら優雅な時間を過ごすことが出来ました。



ロイヤルウイングをバックにした集合写真

下大区民「秋の集い」

11月26日(日)、下大区公民館において人権週間講演会が行われました。講師に男女共同参画社会推進委員長の中村哲久先生（上大池）をお招きし「男女共同参画社会と女性の人権について」をテーマにDVDを見ながらの講演になりました。男らしさ、女らしさではなく自分らしさを大切にしていくことが必要だと感じました。

講演会終了後は、昼食を食べながらのビンゴ大会があり、楽しいひと時を過ごしました。



風 (敬称略)

おめでた(子・親)

- 神通川 真莉・健・上竹田
- 志織
- 宮原 星空・義樹・中大池
- 亜理沙

おくやみ

- 谷川 千哲・哲也・下竹田
- 英美子
- 栗津原 妃奈乃・寛之・上竹田
- なつみ
- 神通川 徳代・87歳・上竹田
- 竹野 入ひでみ・87歳・上竹田
- 倉沢 忠・87歳・小坂

今月の声

アフリカ ガボンでの二年間の活動報告

青年海外協力隊OB 小野 百恵(上竹田)



十一月二十四日に山形村トレ... ニングセンターで、YOUは... 何しにアフリカガボンへ?と... いうタイトルの報告会をさせて... いただきました。というのも、私... は今年九月までの二年間、独立... 行政法人国際協力機構(JICA... A)の制度である青年海外協力隊... としてアフリカでボランティア... 活動をしており、今回はその活... 動報告の機会をいただきました。



現地食を作る女性

私の活動してきたガボン共和... 国という国はアフリカ大陸の西... 海岸に位置し、木材やマンガ... 石油などの豊富な天然資源を外... 国に売って国の資金を稼いでき... ました。そのため、他のアフリ... カ諸国に比べて物の豊かな生活... はしていますが、農業や製造業... 観光業などはほとんど発展して... いません。

そこで、私はガボンの農業を... 発展させるために野菜栽培の普... 及員として地方の小さな街に派... 遣されました。現地に行く... 農家さんたちは資金不足で農作... 業に必要な道具を十分にそろえ

ることができ... ませんでした... また、お金を... 稼ぎたくても... 仕事のない人... もたくさんい... ました。初め... は人に会うた... びにモノやお金の支援を求めら... れましたが、現地の人々が自分... 働いてお金を稼いでいかなけれ... ばガボンの発展にはつながらな... いと思つたので、現地で安く手... に入るものを使う方法を提案し... たり、農業以外にも現金収入を... 得られるように、工芸品の製作... を提案したりしてきました。



ヤシの工芸品作り



野菜作りに灰を使う

今回は支援者という立場でガ... ボンで活動してきましたが、日本... とは文化の異なる外国で生活す... ることで私自身学ぶことが沢山... ありました。異文化に触れて理... 解しようとすることは、外国人の... 増えている日本でこれからもち... と必要になっていくと思うので、... 今回の報告会がそのきっかけに... なれば良いなと思っています。

みんなの人権 ⑦

「人権かるた」で遊ぶ

～まずは身近な人権課題への「気づき」を～



24

過日、村内外で人権... 啓発に熱心に取り組ん... でおられるNさんと、

「人権かるた」のことが話題になりました。こ... の「人権かるた」は、長野県でも、平成22年3... 月に「参加型人権教育プログラム集(人権教育... 推進のための調査研究委員会)」のワークショップ... の一つとして作成・紹介されました。その後、... 「フォトランゲージ」などのワークとともに、... 人権教育指導資料集(長野県人権教育指導方法... 等研究会)にも、取り上げられています。ほ... っこりとした絵で彩られた「取り札」を想像し... ながら、読み札のいくつかを紹介しましょう。

「あ：ありがとう みんな笑顔に なる言葉 (小1)」「か：かざらずに 自分らしく 生きていく(中1)」「さ：さあどうぞ ゆずりゆずられ ハッピーデー(小5)」「た：大切に 自分の名前一人だけ(小4)」「な：仲間って 一生ものの 宝物(小5)」「め：メールよりも 会って伝える 感謝の気持ち(一般)」「ろ：論より実践 人権守る(一般)」「あ：あなたなら、どんな標語の読み札を作りますか。また、取り札に、どんな絵を描きますか。かるたの言葉から、まずは、いじめ・虐待・貧困・男女共同参画・障がい者差別・同和問題・外国人との共生等等、身近な人権課題に「気づき」、その課題の解決策をお互いに探り合うことを通して、周りの人との温かな人間関係《優の風景》をさらに増やしていきたいものです。このワークのねらいも「人権かるた取りをしたり、人権に関係するかるたの標語を作ったりすることにより、身の回りにおける人の優しさに気づき、多様な考え方を「知る」ことにあります。12月10日は、「世界人権デー」。続いて、年末年始を迎えます。こんな時期に、従来の「かるた遊び」を少しばかり工夫して、家庭・地域・学校で、老若男女一緒に考え合う場を持ち、一層人権意識を高めた合えたら、と思います。(文中の「人権かるた」は、長野県教育委員会HPからダウンロードできます。)(H29・12 M・H記)

サッカー  
にかける



# 目指せ夢のために

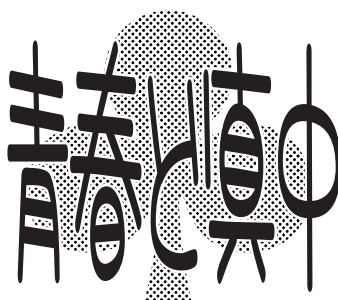
山形小学校 5年き  
伊藤 吏希くん (上大池)



「サッカー大会に出場します。10月からの県内予選を勝ち抜き、3回戦目の試合中には緊張のあまり、ボールの代わりにシューズを飛ばしてしまつた事も。試合にはそんなに出られなかつたけど、チームが優勝した時は嬉しかった」とはにかむ伊藤くんの将来の夢はプロのサッカー選手。  
そのために、今から楽しみにしていることは、鹿児島県に集つた上手な他チームを観ることや、決勝の試合を観戦して勉強すること。きつと、一回り大きくなつて帰ってくることでしょ。



ももか  
小口 百々果さん  
上大池  
(中2・おうし座)



たける  
清水 丈瑠くん  
上竹田  
(小3・うお座)

音楽の先生を  
目指します



「音楽の先生を目指します」  
音楽の先生になりたいと笑顔で話してくれました。  
中学校では、吹奏楽部に所属し活躍している百々果さん。1月に開催される打楽器のコンクールに向けて、パーカッションの仲間4人と助け合いながら、一生懸命練習に励んでいます。「難しい曲だけれど、金賞を狙います」と頼もしい言葉が返って来ました。4歳から始めたピアノも大好きで、家では様々な曲を弾いているそうです。音楽に囲まれて育ち、将来の夢は音楽の先生とのこと。「子どもたちが音楽を好きになつてくれるような先生になりたい」と笑顔で話してくれました。

継続は  
チカラなり



「剣道をやってみない？」という母の一言から5年。丈瑠くんは山形村剣道クラブで腕を磨いており、ここ3年間ですでに3回の優勝実績がある実力者です。  
優勝の感想を聞いてみると「大会ではすべて『面』だつたけど、他の技でも勝てるようになっていない」とさりげなく現在は苦手な「小手」の修得が課題だそうです。  
いずれは県の選抜として全国へ行きたいという丈瑠くん。腕前だけでなく向上心も非常に高く、今後がとてもし楽しみな剣士です。